

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 しあわせ駅 粕屋

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		庭を使ったり、個別活動をいれることで、一部屋にたくさんの児童が密集しないようにしている。	令和3年4月移転する為、部屋数が増える。
	2	職員の配置数は適切である	○		指定基準に基づいた人員配置を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		会議や終礼などで、職員が意見を出し合える環境である。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けアンケートを活用し、ニーズに応えるように努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに記載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による評価機関は持っていないが、今後しっかりと知識を高め、業務改善に努めていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		送迎時等に保護者の思いを聞くようにしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間でしっかりと話し合いをしながら、分担して企画を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動内容が固定しないように、職員で話し合いしながら、様々な分野の企画を考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		自立に向けた課題を取り入れて支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		グループ活動等も増やし、様々な人と関わる機会を増やしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を行い、日々の打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼でその日の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動記録をしっかりと、支援改善にいかしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に話し合いを実施。児童発達支援管理責任者だけの考えではなく職員一人一人の考えを反映している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドライン総則の基本活動に基づき、自立・創作・交流・余暇などの複数を組み合わせた支援を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が主となり、対象児童との関わりの多い職員等が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校や保護者と、下校時間の確認やその他の連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアが必要な児童は在籍していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		相談事業所や保護者からの情報提供が主である。 今後必要に応じて、情報共有する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		要望があった際は、支援情報の提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		粕屋町の児童館を利用させていただいたり、公園で地域の子どもたちと一緒にぶくともある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		コロナ過の為、参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や電話にて密に伝えている。 また、送迎時にもしっかりと伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		日々お話をする中で、事業所の支援内容や工夫点を参考にさせていただいている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		保護者の方が見やすいように、書面を見ながら丁寧に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		関係機関と共有を図るなどしながら、相談等には真摯に対応するようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ過の為、開催できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		小さな事柄であっても早急に対応し、その案件に沿った研修も取り入れている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ、SNSで活動内容、行事等をお知らせしている。 月一回通信をだしている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報保護規定に基づき、十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて視覚支援等を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを策定し、職員・保護者に周知している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回避難訓練を行っている。非常災害の話をつかりやすく説明している。	通信にてお知らせしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在、身体拘束の必要性のある利用児はいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食物アレルギーのある利用児は、保護者からの細かい指示を貰い職員に周知徹底し対応するようにしている。	現在食物アレルギーを持っている児童は在籍していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		怪我や事故の情報を共有する為会議を開き、事故防止に努めている。	